

米国にEV（電気自動車）用急速充電器を設置

～当社「ラピダス」、世界最高レベルの技術で採用!!～

JFEエンジニアリング株式会社（本社：東京都千代田区、社長：岸本純幸）は、このたびカリフォルニア州サンディエゴと西海岸のオレゴン州ポートランドの2箇所にEV用急速充電器「ラピダス（RAPIDAS）」^{※1}を設置しました。

カリフォルニア州サンディエゴ市において当社は、昨年12月、大手のガス・電力会社であるサンディエゴ・ガス・アンド・エレクトリック社（SDG&E）より日本企業で初めて受注し、本年2月、同社構内に設置しました。当社の急速充電器「ラピダス」は、受電の際に50kWの大電力を必要とせず電力を平準化して使えることから、ピーク電力使用量に従って追加課金されるデマンドチャージ^{※2}を抑制できる点が採用の決め手になりました。

またオレゴン州ポートランド市では、市内街路に「エレクトリックアベニュー」^{※3}を設け、各種充電器を設置し一般開放しています。「ラピダス」は日本企業の製品として初めて本プロジェクトに選定され、本年2月に設置されました。当社は、兼松株式会社と共同で利用状況や管理状況などのデータを収集・分析による実証を進め、米国での拡販に向けた新機種^{※4}の市場投入を図ります。

蓄電池を搭載した「ラピダス」は、20kWの小電力で通常の急速充電を行うことが可能なため^{※4}、他形式に比べ設置場所の受電設備や電力配線の整備に要する費用を軽減できます。

一方、米国、特に西海岸では、脆弱な送配電ネットワークがEV普及の障害になると懸念されています。小電力で使用できる「ラピダス」は、こうした米国の電力供給事情に適しており、世界最高グレードの充電器として米国州政府やエネルギー関連企業等から高い関心が寄せられています。

当社は、今後も米国で「ラピダス」の提案を積極的に展開します。さらには、次世代機として当社が開発した「8分で80%」の充電が可能な超急速充電器「スーパーラピダス」の普及についても展開してまいります。

- ※ 1 当社が開発した急速充電器「ラピダス」は、CHAdeMO 基準に準拠した仕様で「30分で80%」の充電が可能
- ※ 2 米国の地域により異なるが、デマンドチャージと言われる料金制度があり、1ヶ月の中で最も多く使用されたピーク時の電力量に対し、基本料金に一定のチャージが加算される仕組み
- ※ 3 ポートランド州立大学（PSU）、ポートランド・ゼネラル・エレクトリック社（PGE）とポートランド市が共同で推進するEV充電実証プロジェクト。州立大学前の街路「エレクトリックアベニュー」に各種充電器を設置し、EVや充電に関する研究を進めるとともに、それらの技術や都市計画の紹介を目的としている。
- ※ 4 小さな受電で充電するラピダスの概念図



※ポートランド市「エレクトリックアベニュー」に設置されたラピダス



本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。
 JFEエンジニアリング株式会社 総務部広報室